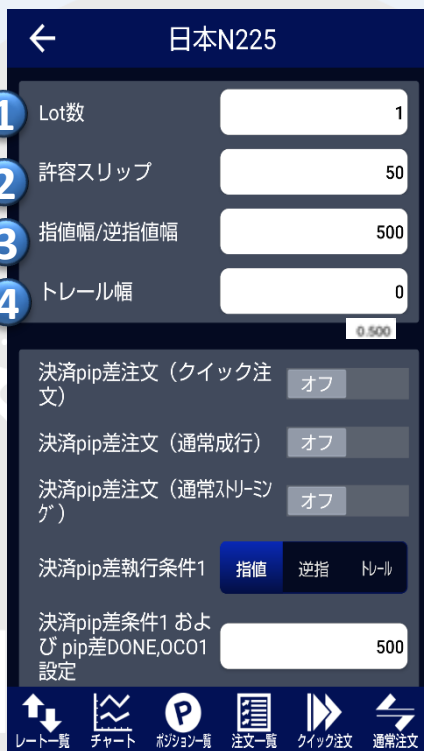
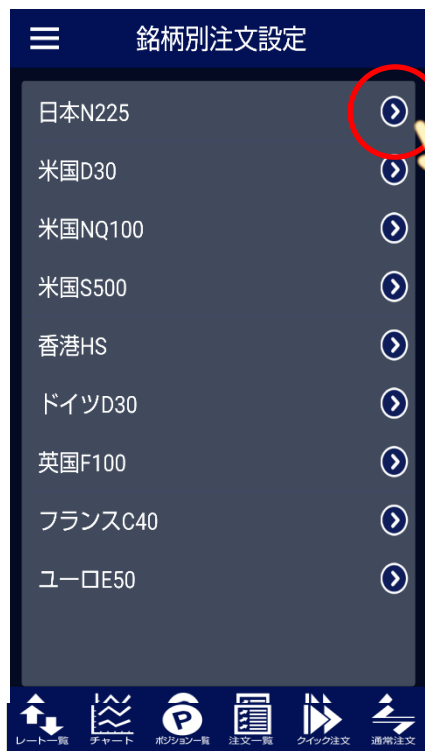


銘柄別注文設定

LION CFD for Android

銘柄毎に注文画面を開いた際に表示される【Lot数】・【許容スリップ】・【指値幅(逆指)】・【トレール幅】の数値や決済pip差の設定を行うことができます。

※画面を表示させるには、【メニュー】の【銘柄別注文設定】をタップします。




1 Lot数
注文数量の初期値を設定できます。

2 許容スリップ
ストリーミング注文やクイック注文利用時に適用される許容スリップの設定ができます。

3 指値幅/逆指値幅
注文画面に反映される指値幅・逆指値幅の初期値が設定できます。

4 トレール幅
注文画面に反映されるトレール幅の初期値が設定できます。

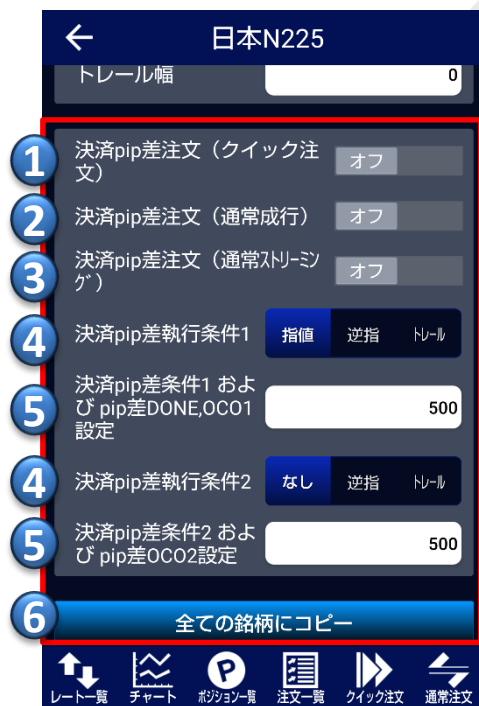
【許容スリップ】・【指値幅(逆指値幅)】・【トレール幅】は pip入力となります。

①銘柄別注文設定画面を開き、設定をしたい銘柄の  をタップします。

②設定画面が表示されます。

銘柄別注文設定

LION CFD for Android



1 決済pip差注文(クイック注文)

クイック注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

2 決済pip差注文(通常成行)

成行注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

3 決済pip差注文(通常ストリーミング)

ストリーミング注文画面での、pip差による決済注文自動発注の発動の有無が設定できます。

4 決済pip執行条件1/決済pip執行条件2

決済pip差注文は5パターンの注文が可能です。

- ① 執行条件1: 指値 (執行条件2: なし)
- ② 執行条件1: 逆指 (執行条件2: なし)
- ③ 執行条件1: トレール (執行条件2: なし)
- ④ 執行条件1: 指値 + 執行条件2: 逆指
- ⑤ 執行条件1: 指値 + 執行条件2: トレール

①～③の場合は、【決済pip差執行条件1】と【決済pip差1】の設定をしてください。

④・⑤の場合は、【決済pip差執行条件1】・【決済pip差1】及び【決済pip差執行条件2】・【決済pip差2】でそれぞれ設定してください。

5 決済pip差条件1およびpip差DONE,OCO1設定/決済pip差条件2およびpip差OCO2設定

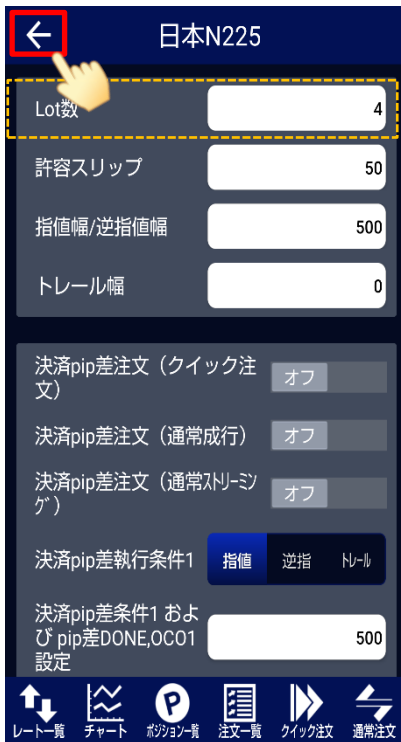
決済pip差執行条件1、決済pip差執行条件2で設定した条件の値幅を設定できます。Pip入力となります。


6 全ての銘柄にコピー

上段で設定した内容が全ての銘柄に反映されます。


銘柄別注文設定

LION CFD for Android



③例えば、Lot数の数値を「4」に変更します。設定が完了すれば、画面左上  をタップします。



④【銘柄別注文設定】画面に戻りました。画面左上  を押すとメニュー画面に戻ります。



⑤注文画面を開いた際に表示されるLot数の数値が、常に「4Lot」で表示されるようになりました。